

VI. 実技検査を課す専攻の内容について

課 程 ・ 専 攻	該当ページ
① 中等教育教員養成課程 音楽専攻	16～18
② 中等教育教員養成課程 美術専攻	19
③ 中等教育教員養成課程 保健体育専攻	20～21
④ 中等教育教員養成課程 書道専攻	22

① 中等教育教員養成課程 音楽専攻

【前期日程】・【学校推薦型選抜】

【前期日程】、【学校推薦型選抜】を受験する者は、以下に示した【Ⅰ】、【Ⅱ】、【Ⅲ】、【Ⅳ】をすべて受験してください。

なお、実技検査の実施にあたっては、実技課題の特性に応じて、入念な感染症対策を講じた上で実施します。新型コロナウイルス感染症の流行状況によって、実技検査の内容を変更する場合には、学生募集要項、本学ホームページ等でお知らせします。

【Ⅰ】共通音楽実技課題

※受験者は、3部門（①視唱、②声楽、③ピアノ）を必ず演奏してください。

①視唱

コールユーブンゲン第1巻，原書No.1～No.85までの中から，当日指定して演奏させます。

②声楽

下記の歌曲より任意の1曲を選び，**暗譜**で演奏してください。

- | | |
|----------------------------|---------------|
| ・ Nel cor più non mi sento | パイジェッロ作曲（へ長調） |
| ・ Lasciar d'amarti | ガスパリーニ作曲（へ短調） |
| ・ Sogno | トスティ作曲（変イ長調） |
| ・ O del mio amato ben | ドナウディ作曲（変イ長調） |

注（ア）歌曲を指定以外の調で演奏する者は，伴奏楽譜を志願票兼出願確認票とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。

なお，楽譜提出後の変更は，一切認めません。

（イ）演奏は，原語とします。

③ピアノ

J.S.バッハ作曲インヴェンションBWV772～BWV786（ただし，BWV772ハ長調，BWV773ハ短調，BWV774ニ長調，BWV775ニ短調，BWV779へ長調，BWV781ト長調は除く），シンフォニアBWV787～BWV801（ただし，BWV791変ホ長調は除く），平均律クラヴィーア曲集第1巻BWV846～BWV869・第2巻BWV870～BWV893のフーガより任意の1曲を選び，演奏してください。

注（ア）繰り返しはすべて省略してください。

（イ）演奏は，暗譜でなくても構いません。

（次ページへ続く）

【Ⅱ】選択音楽実技課題

※下の1. から4. までの4種類の受験方法の中から一つを選択して受験してください。

1. ピアノで受験する者

ベートーヴェン作曲ピアノ・ソナタより任意の1曲を選び、その第1楽章または終楽章を演奏してください。ただし、Op. 26, Op. 27-1, Op. 27-2 (第1楽章), Op. 49-1, Op. 49-2, Op. 54, Op. 79は除きます。

- ☐注 (ア) 繰り返しはすべて省略してください。
(イ) 演奏は、暗譜でなくても構いません。

2. 声楽で受験する者

任意の歌曲（オペラ又はオラトリオのアリアを含む）を1曲、**暗譜**で演奏してください。
ただし、【Ⅰ】共通音楽実技課題 ②声楽で課題として指定した曲を除きます。

- ☐注 (ア) 伴奏楽譜を志願票兼出願確認票とともに提出してください。
提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。
なお、楽譜提出後の変更は、一切認めません。
(イ) 演奏は原語とし、演奏時間は4分以内とします。
(ウ) 歌曲の調については自由ですが、オペラ又はオラトリオのアリアについては、原調で演奏してください。

3. 管楽器または弦楽器で受験する者

管弦楽器の楽曲より任意の1曲又は、一つの楽章を選び演奏してください。

- ☐注 (ア) 繰り返しはすべて省略してください。
(イ) 試験の際に伴奏を付けるので、伴奏楽譜を志願票兼出願確認票とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。無伴奏の場合は、伴奏楽譜の提出の必要はありません。
なお、楽譜提出後の変更は、一切認めません。
(ウ) 演奏は、暗譜でなくても構いません。

4. 作曲で受験する者

4声体による和声課題（バス課題、ソプラノ課題またはその混合課題とし、非和声音を含む程度）を1題課します。

【試験時間 120分】

(次ページへ続く)

【Ⅲ】小論文**【前期日程】**

中等教育教員養成課程共通の小論文を課します。

【学校推薦型選抜】

音楽教育に関する小論文を課します。

【Ⅳ】音楽理論

楽典及び音楽史（ヨーロッパ音楽史と日本の伝統音楽・民族音楽）を課します。

【前期日程】

【Ⅰ】実技検査

鉛筆画を課します。(静物)

注鉛筆, 消し具等鉛筆画に必要な用具を持参してください。

ただし, 画架, 画板, 画紙, 画鋸は不要です。(はかり棒のみ使用を認めます。)

【Ⅱ】小論文

中等教育教員養成課程共通の小論文を課します。

【Ⅲ】面接

【学校推薦型選抜】

【Ⅰ】実技検査

鉛筆画を課します。(静物)

注鉛筆, 消し具等鉛筆画に必要な用具を持参してください。

ただし, 画架, 画板, 画紙, 画鋸は不要です。(はかり棒のみ使用を認めます。)

【Ⅱ】美術理論

美術史(日本・西洋美術史及び現代までの美術)を課します。

【Ⅲ】面接

【前期日程】

【Ⅰ】実技検査

以下の1. 2. をすべて受験してください。

なお、実技検査の実施にあたっては、実技課題の特性に応じて、入念な感染症対策を講じた上で実施します。新型コロナウイルス感染症の流行状況によって、実技検査の内容を変更する場合には、学生募集要項、本学ホームページ等でお知らせします。

1. 専門種目

陸上競技，競泳，ダンス，柔道，なぎなた，剣道，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球

上記の中から1種目を選択しますが、上記種目に該当する専門種目がない場合でも、必ず上記の種目の中から1種目を選択し、本学所定の競技歴調査書にその種目を記入し、志願票兼出願確認票とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した専門種目については、出願後変更できません。

2. 選択種目

4つの選択種目（走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンス）から2つの種目を選び、**マット運動と合わせて、合計3種目を受験してください。**

ただし、上記の「1. 専門種目」で選択した種目と同じ種目は選択できません。したがって、種目の選択にあたっては、下記の事項に留意してください。競技歴調査書に記入した選択種目については、出願後変更できません。

(1) 専門種目で「陸上競技」を受験する者は、下の表に示す種目を受験してください。

種	目
マット運動（必須）	
柔道，剣道，創作ダンスの中から2種目	

(2) 専門種目で「競泳，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球」のいずれかを受験する者は、下の表に示す種目を受験してください。

種	目
マット運動（必須）	
走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンスの中から2種目	

(3) 専門種目で「ダンス，柔道，なぎなた，剣道」のいずれかを受験する者は、下の表に示す種目のうち、**専門種目以外の種目**を受験してください。

種	目
マット運動（必須）	
走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンスの中から2種目	

※専門種目で「ダンス」を受験する者は、選択種目で「創作ダンス」は選択できません。

※専門種目で「柔道」を受験する者は、選択種目で「柔道」は選択できません。

※専門種目で「なぎなた，剣道」のいずれかを受験する者は、選択種目で「剣道」は選択できません。

注次ページの「◎実技検査受験上の注意」も必ず読んでください。

【Ⅱ】小論文

中等教育教員養成課程共通の小論文を課します。

【 学校推薦型選抜 】

【 I 】実技検査

【特技種目】

剣道，柔道，陸上競技，硬式野球

上記の種目の中から1種目を選択し、その競技歴を本学所定の競技歴調査書に記入し、志願票兼出願確認票等とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した特技種目については、出願後変更できません。

なお、実技検査の実施にあたっては、実技課題の特性に応じて、入念な感染症対策を講じた上で実施します。新型コロナウイルス感染症の流行状況によって、実技検査の内容を変更する場合には、学生募集要項、本学ホームページ等でお知らせします。

★「競技歴調査書」には、受験者本人の競技大会及び試合への出場や成績を客観的に証明できる資料（例として、新聞・雑誌記事に本人の氏名や写真のあるもの、大会・試合・競技会記録に本人の競技成績や出場した記録が記載されているもの、あるいは当該競技主催団体が公印にて受験者本人の出場や成績を証明している文書）を添付することが必要です。

新聞記事、写真等の添付資料（※）は、A4版の大きさ（競技歴調査書と同じ大きさ）の用紙に切り貼り、コピー等により作成し提出してください。なお、競技会への参加申込書や登録選手一覧などの資料は、実際に競技したことを証明する資料にはなりません。また、段位認定証等、競技歴に直接関係ない資料は提出を要しません。

※新聞記事等の切り抜きやコピーを添付資料として利用される場合は、出版元に利用方法や利用の可否を確認してください。

注 下記の「◎実技検査受験上の注意」も必ず読んでください。

【 II 】小論文

【 III 】面接（口頭試問を含む。）

◎実技検査受験上の注意

- (ア) 試技する際に着用するすべてのウェアの胸部と背部の両面にゼッケンとして白布（縦20cm×横30cm）を必ず縫いつけ、約1.5cm幅の黒字で受験番号の下3桁をできる限り大きな文字で記入してください。ただし、次の場合は注意してください。
- ・柔道の場合は、背部のみに縫いつけてください。
 - ・剣道、なぎなたの場合は、袋状のゼッケンを作成し、タレの前面にかぶせるようにしてください。
 - ・競泳、ダンスの場合は、何も縫いつけなくて構いません。
- (イ) 専門種目及び特技種目で使用するウェア、シューズ（野球及び陸上競技のスパイクを含む）、剣道具、竹刀、槍、スイミングキャップ、バット（金属可）、グローブ等の個人用具は、すべて各自持参してください。
- ダンスで専門種目を受験する者は、自由なテーマに基づく創作作品（2分以上2分30秒以内）を用意し、音楽については、CD又はUSBメモリを各自用意してください。（ただし、無音も可。）
- なお、作品用衣装がある場合は、着用して演技してください。また、CDについては、パソコンを除く一般の音楽再生機器（CDプレーヤー等）で再生できることを確認のうえ、持参してください。（CDが再生できない場合は、無音での実技となります。）
- (ウ) 選択種目で使用するウェア（選択種目の「柔道」における柔道衣を含む）、シューズは、各自持参してください。
- なお、選択種目の「剣道」で使用する防具、竹刀等は、大学で用意しますが、自己のものを使用しても構いません。
- (エ) 体育館シューズと屋外用シューズを持参してください。

以上のようなことが守られていなければ試技ができないこともあります。

④ 中等教育教員養成課程 書道専攻

【前期日程】

【Ⅰ】実技検査

以下の 1. 2. をすべて受験してください。

1. 臨書課題

用紙は画仙紙半切，半紙等を使用します。

2. 創作課題

用紙は画仙紙全紙とします。

(自由に切って表現しても構いません。

ただし，全紙 1 / 4 より大きい作品にしてください。)

注 (ア) 筆，墨，硯，下敷，文鎮，ペーパーナイフなど揮毫上必要な用具を持参してください。用紙は当日配布します。また，持参した用紙は，使用できません。

(イ) 罫線が印刷された下敷は使用できません。

(ウ) 字典は持ち込みできません。

【Ⅱ】小論文

中等教育教員養成課程共通の小論文を課します。

【Ⅲ】面接

【学校推薦型選抜】

【Ⅰ】実技検査

以下の 1. 2. をすべて受験してください。

1. 臨書課題

用紙は画仙紙半切，半紙等を使用します。

2. 創作課題

用紙は画仙紙全紙とします。

(自由に切って表現しても構いません。

ただし，全紙 1 / 4 より大きい作品にしてください。)

注 (ア) 筆，墨，硯，下敷，文鎮，ペーパーナイフなど揮毫上必要な用具を持参してください。用紙は当日配布します。また，持参した用紙は，使用できません。

(イ) 罫線が印刷された下敷は使用できません。

(ウ) 字典は持ち込みできません。

【Ⅱ】小論文

書道及び書道教育に関する小論文を課します。

【Ⅲ】面接 (口頭試問を含む。)